

## 常任委員会 所管事務調査報告

令和元年7月23日に市内3会場で開催された市議会・市民との意見交換会において、各会場から出された市民の意見を踏まえ、常任委員会で理事者側から説明を受け調査した結果をお知らせします。

### 総務文教常任委員会

#### 過疎地域への公共施設建設について

- ・国が示す過疎対策事業による公共施設等の整備の考え方は、所有施設の全体を把握し、統合、長寿命化など計画的な整備で財政負担の軽減や最適な配置の実現等を十分に検討することを求めている。
  - ・市公共施設等総合管理計画の基本方針のもと個別管理計画により整備を実施し、今後は国や県の方針を参考に、次期過疎地域自立促進計画の策定に取り組む。
- ⇒今後の関連計画の策定時には地域の意見を踏まえ、市全体で利用できる施設整備を議論してほしいと意見集約しました。

### 観光建設常任委員会

#### 市道焼山線の整備状況と桂月橋の災害対策

- ・市道焼山線は、旧笠石家交差点西側から桂月橋交差点東側の計画済み区間を現在整備中で、その整備後に立石発電所付近の未計画区間1.2kmを調査研究する。
  - ・桂月橋は平成30年度に青森県と協議し補修工事を実施している。
- ⇒市道焼山線の未計画区間の早期整備着工を望み、また、桂月橋の安全対策は適切に進められていると意見集約しました。

#### 湖畔地区の景観対策

- ・市は市道休屋十和田神社線の石畳化事業を、環境省は一宮園地を含めた北駐車場の再整備を進めている。
  - ・地元住民や事業者、環境省と連携して湖畔地域づくり懇談会を開催している。
- ⇒廃屋の撤去や地域の再整備が進むよう、国や県への働きかけを継続してほしいと意見集約しました。

## 有権者としての責任と自覚を

### —三本木農業高校生と意見交換会—

三本木農業高校生との意見交換会が、令和元年11月15日に同校で開催されました。

平成28年度から30年度まで十和田工業高校で実施したこの意見交換会は、次世代を担う高校生たちに、議会や議員の役割を理解して身近に感じてもらう、市政に対する関心と地域参加への意識高揚を図ることを目的として、毎年開催されています。

■市が抱える問題やその改善策など、私たちが考えていることを伝えることができようになったです。

■スマート農業の普及など、地元から農業を活性化させ、若者世代の農業就業人口をふやしていく活動をしていきたいです。

■コミュニケーション能力の大切さを身をもって感じるようになりました。

■18歳になったら投票に行ってみたくです。



当日は約170人の高校2年生が20グループに分かれ、農業や観光振興、学校統廃合など、多岐にわたるテーマをもとに各議員と市の課題や将来像等について、活発に意見を交わしました。

【生徒の感想】

■市が抱える問題やその改善策など、私たちが考えていることを伝えることができようになったです。

■スマート農業の普及など、地元から農業を活性化させ、若者世代の農業就業人口をふやしていく活動をしていきたいです。

■コミュニケーション能力の大切さを身をもって感じるようになりました。

■18歳になったら投票に行ってみたくです。

【議員の感想】

◆議会や議員の役割など、矢継ぎ早に出てくる質問に感心し、これからの十和田市を担う三農生に親近感を持ちました。

◆地域を担う気概に満ちた会でした。彼らの普段見せないような顔が見られて、感慨深い一日でした。

◆卒業後は市外への進学・就職が多いので、若者のニーズを把握し、Uターン時の支援を一緒に考えていきましようと話しました。